



2026年6月26日

各 位

会 社 名 株式会社日本ケアサプライ
代表者名 代表取締役社長 平松 雅之
(コード：2393、東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員 CFO 坂巻 登
(TEL. 03-5733-0381)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（アップデート）

当社は、昨年2025年6月26日に公表いたしました「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について、現状の分析・評価及び今後の取組み方針についてアップデートいたしましたので、お知らせいたします。詳細につきましては、添付資料をご覧ください。

以 上

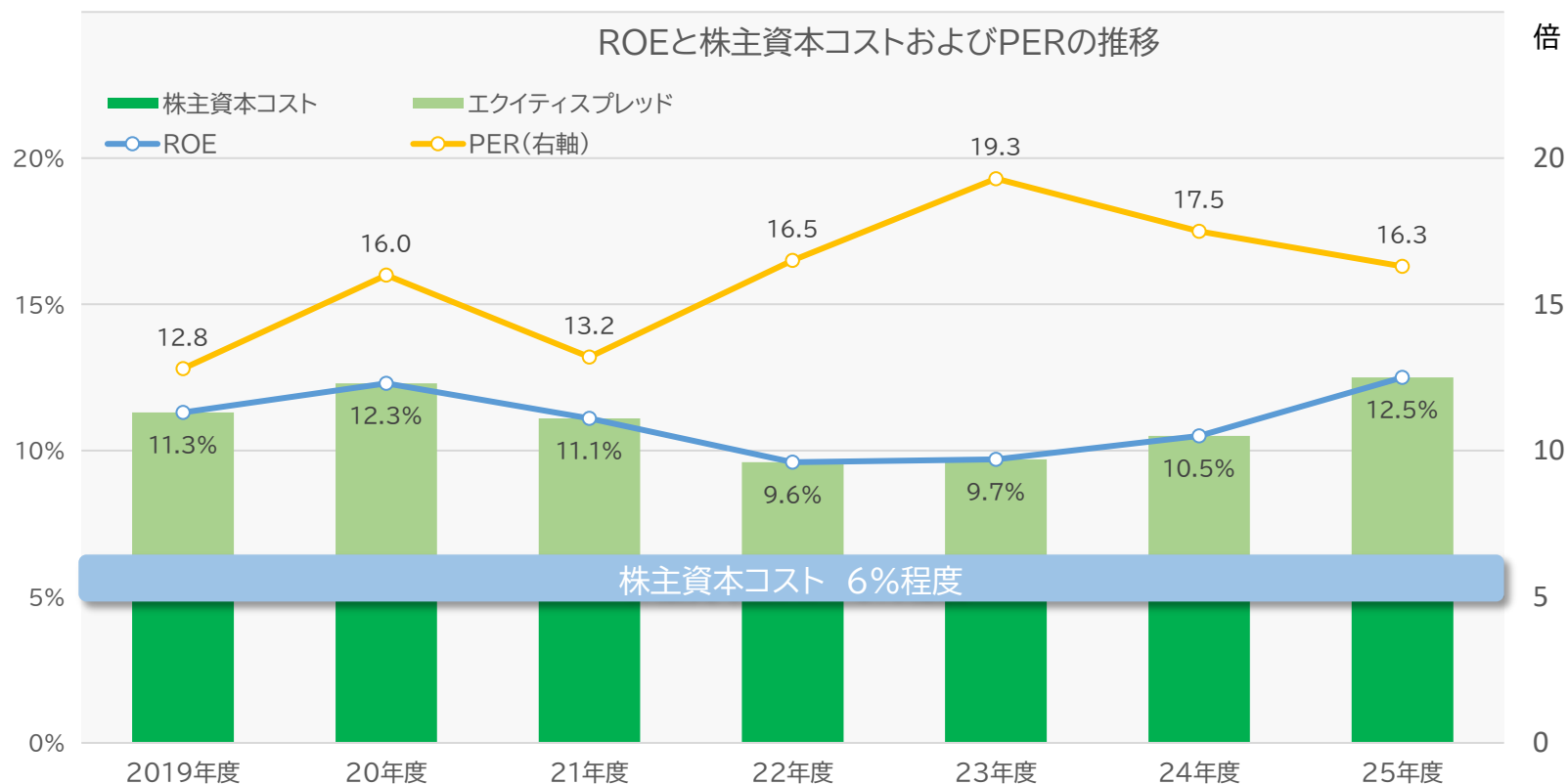
資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について (アップデート)

2026年6月26日
株式会社日本ケアサプライ
東証スタンダード 2393

現状分析① 株主資本コストに関わる主要指標

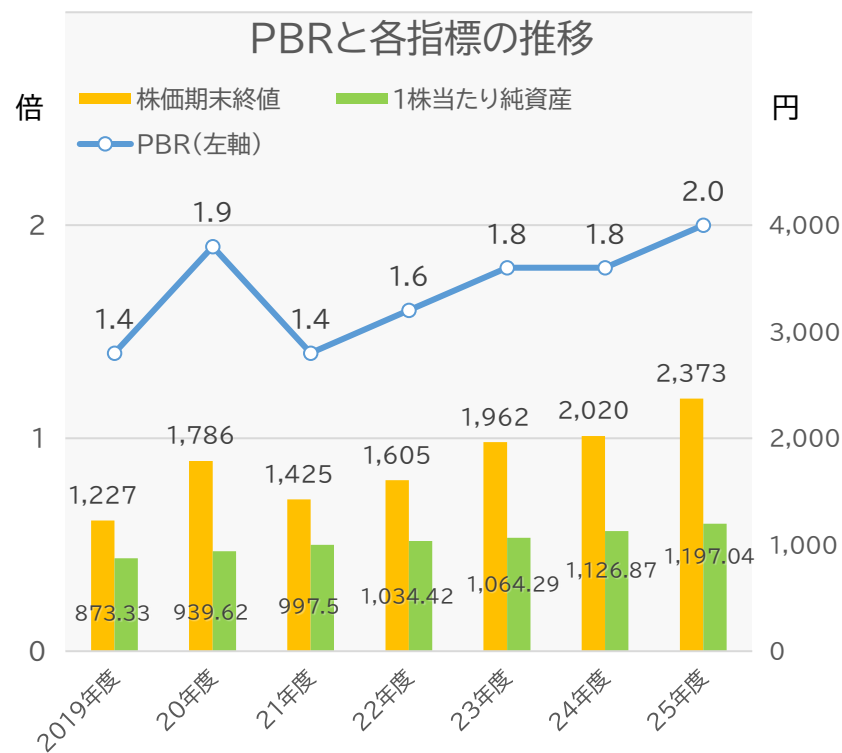
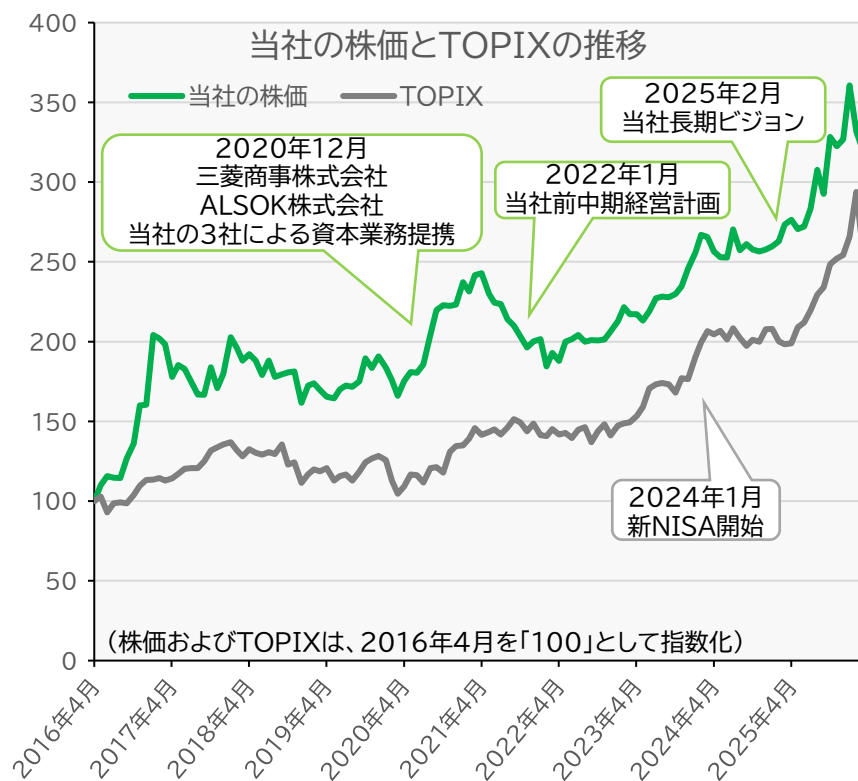


- ・株主資本コストは、CAPMと株式益利回りから推計し6%程度と認識
- ・ROEの向上により、エクイティスプレッドの拡大を図る
- ・PERは、近年15～20倍の水準で推移



現状分析② 株価に関わる主要指標

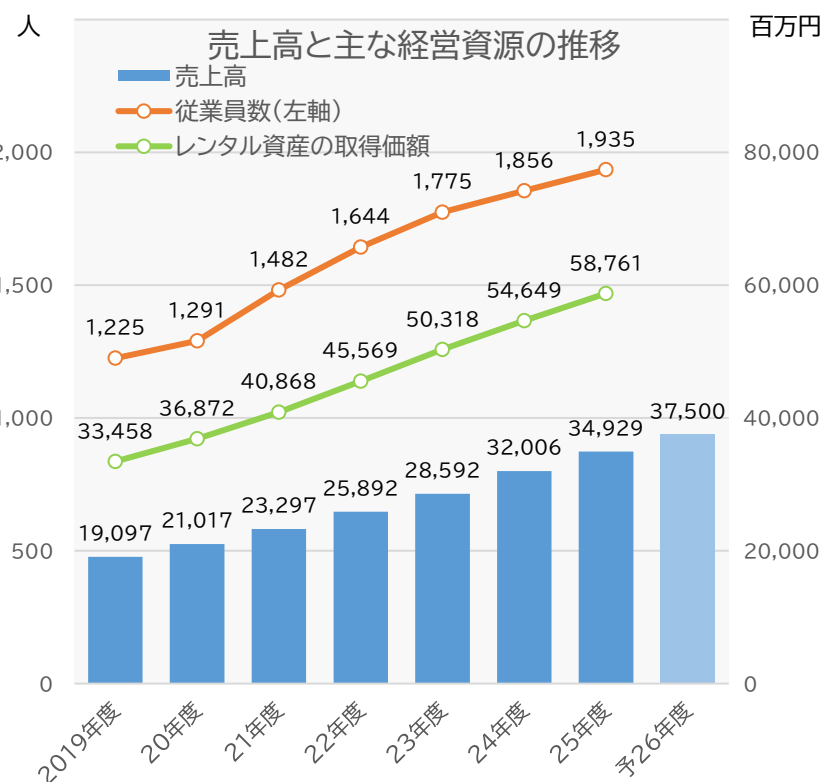
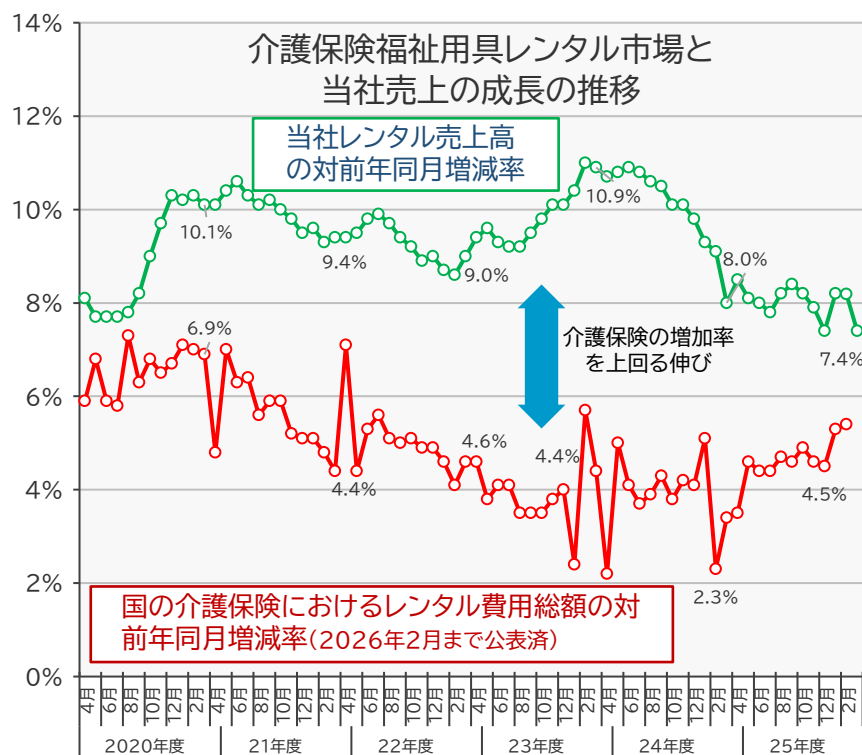
- ・当社の株価は、TOPIXを上回る値動き
- ・PBRは、2025年度末に2.0倍の水準で推移
- ・各指標は、収益拡大と成長期待によって、概ね向上の傾向



現状分析③ 業績の推移



- ・当社の売上高は、福祉用具レンタル市場の増加率を上回る伸び
- ・介護保険の福祉用具レンタルの介護費は、今後も増加が見込まれる
- ・当社の経営資源(レンタル資産、従業員)への投資は、継続

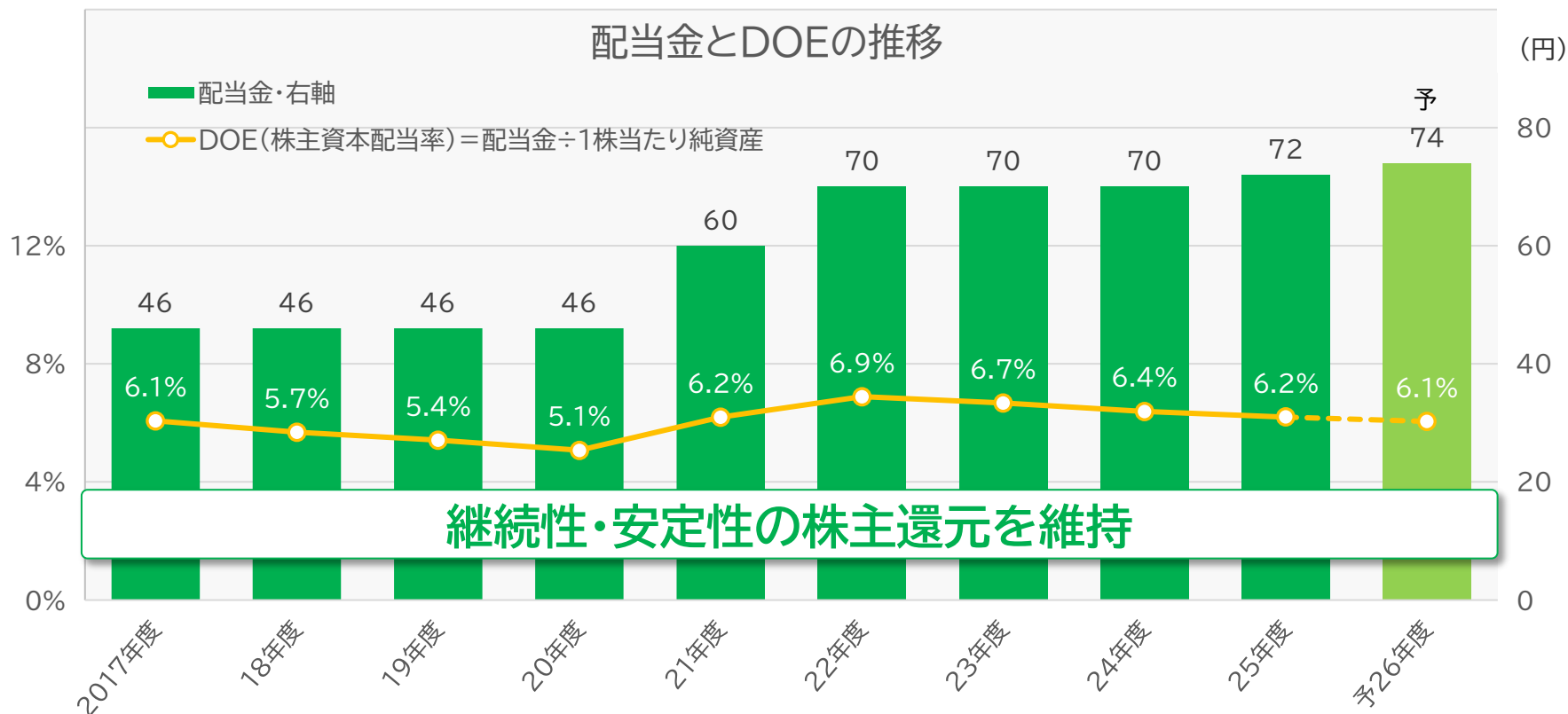


計画策定・開示① 2030年度に向けた目標(株主還元)



当社は、株主に対する利益還元を経営の重要な施策として位置付け、累進配当制度を導入及びDOE(株主資本配当率)6%を下限とする目標に基づき、配当を決定することを基本方針としております

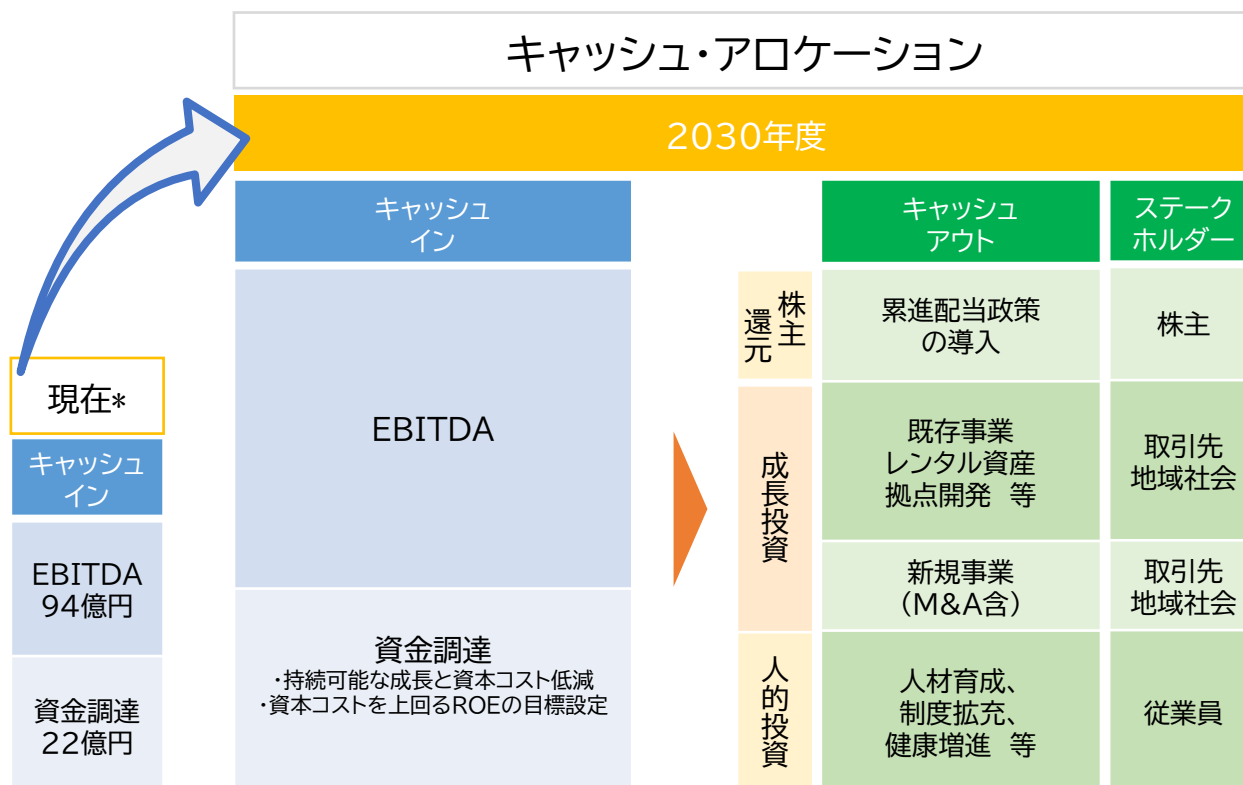
配当金とDOEの推移



計画策定・開示② 2030年度に向けた目標(キャッシュ・アロケーション)



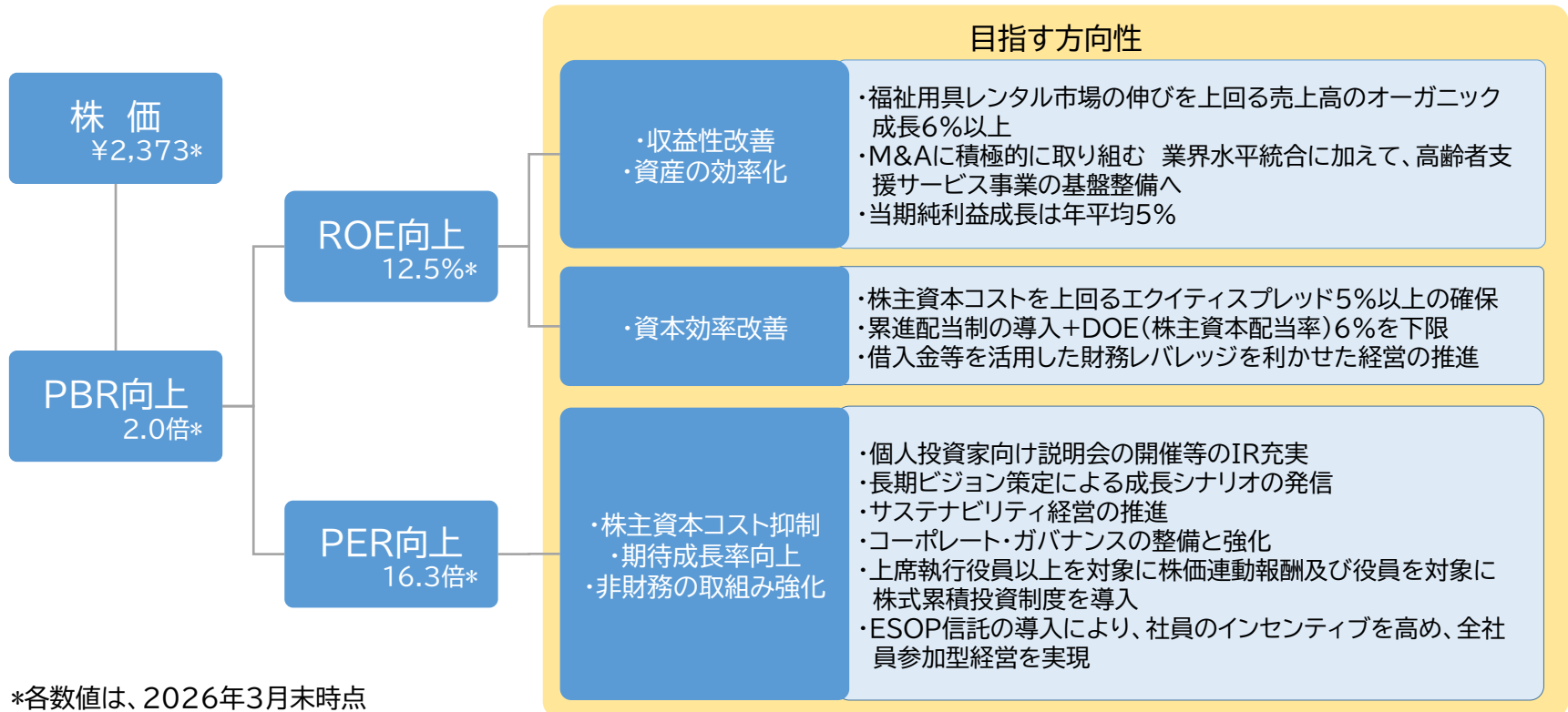
- ・長期ビジョンに基づき、着実な成長と経営資源の配分方針により、企業価値の最大化を図る
- ・M&Aには、積極的に取組み、業界水平統合に加えて、高齢者支援サービス事業の基盤整備へ
- ・借入金を活用し、財務レバレッジを利かせた経営の推進



*2025年2月長期ビジョン作成当時

取り組みの実行① 「収益性」「資本効率」の改善を推進

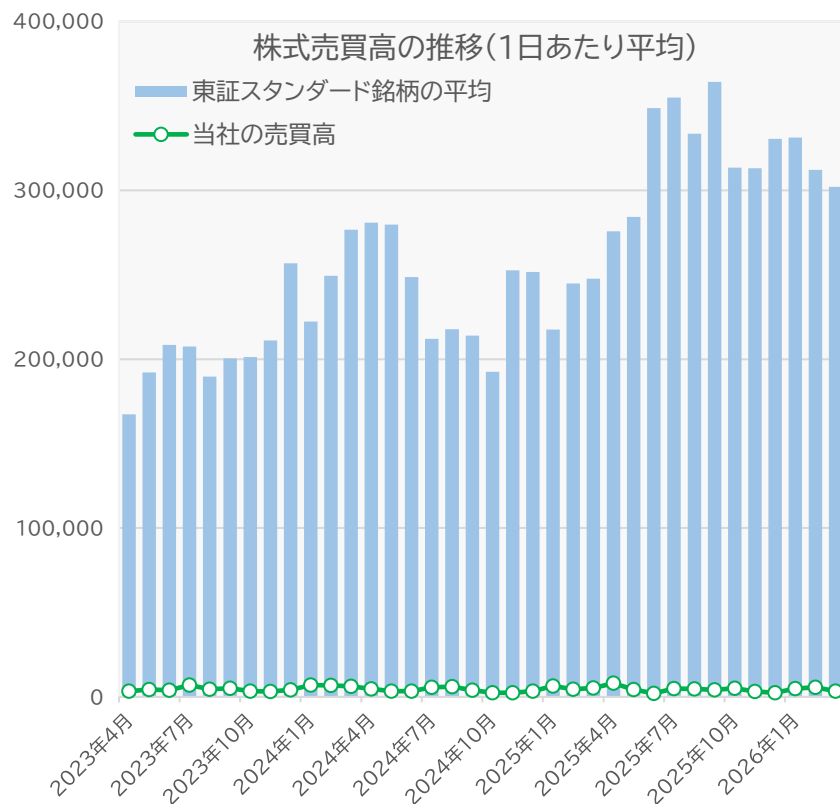
- ・収益率と成長期待によって、PBRの向上を図る
- ・非財務情報の取り組みを通じて、株主資本コストを抑制



*各数値は、2026年3月末時点

取り組みの実行② 株式売買高の増加への対応

当社の株式売買高は、過去3年間の1日当たりの平均は、5,000株程度で少ないと認識（東証スタンダード銘柄の1社1日当たりの平均は、250,000株程度）



今後の取り組み

- ・東証の要請に対応するため、最低投資金額の引き下げに向けた検討
- ・認知度向上対策として、個人投資家向け説明会・個別IR面談の実施、自社HPなどを活用し、情報発信を強化
- ・株式流通比率(2026年3月期末現在26.9%)を高めるため、引き続き大株主へ保有比率引き下げを働きかけ

取り組みの実行③ IR強化

- ・各種情報開示を拡充させ、投資家の皆さまへの認知度向上を図る
- ・個人投資家説明会等の継続開催により、企業価値を適正に評価いただけるよう、投資家の皆さまへの説明や対話の機会を積み重ねる

<実施状況>

対象	イベント	説明者	年間実績	公表資料	説明内容
機関投資家等	決算説明会	代表取締役社長、CFO	2回	説明資料 説明動画	<ul style="list-style-type: none"> ・長期ビジョンの成長シナリオ ・事業環境 ・業績見通し ・サステナビリティの取り組み ・配食事業の営業戦略 等
	個別面談	CFO、IR担当部門	20回	-	
個人投資家	会社説明会	代表取締役社長	2回	説明資料 説明動画	
海外投資家	英文開示	-	決算 (四半期ごと)	決算短信のみ	サマリー、定量情報